

## JICA ベトナム事務所 菅野新所長からのご挨拶



JICA ベトナム事務所長菅野裕一

2023年3月1日より国際協力機構（JICA）のベトナム事務所長に着任した菅野 祐一と申します。ベトナムへの赴任は今回で2回目になり、最初の赴任は20年以上前の1999年から2002年の約3年間でした。当時は、交通・都市開発分野における技術協力プロジェクトに携わっており、こうして再度ベトナムで働けることを大変うれしく思っています。

JICAは日本のODA（政府開発援助）実施機関であり、なかでもベトナム事務所はJICA在外事務所の中でトップ5に入る事業規模を誇っています。現在、教育、保健、交通、エネルギー、農業など様々な分野で100以上のプロジェクトが実施されています。

日本の対越 ODA 協力 30 周年の 2022 年に続き、2023 年は日越外交関係樹立 50 周年を迎える記念すべき年です。両国の強固な関係とベトナムの発展における日本の貢献を振り返る、重要な節目に所長として就任できたことは、とても幸運です。

ここで、今後のベトナムでの協力計画について少し触れたいと思います。

ベトナム経済は COVID-19 の流行から回復していますが、回復後の経済成長を確実にしていくためには社会インフラ整備が非常に重要です。JICA はこれまで、インフラの計画からハード整備までの一貫した協力のみならず、運営維持のための人材育成といったソフト協力まで、中長期的な視点をもってベトナムの発展に協力してきており、今後もこれを継続していきます。

同時に、経済成長の恩恵を受けられない人々のグループを最小限にすることも重要です。そのために、農村開発、保健、教育など、ベトナムの人々に直接的な恩恵をもたらす分野で、幅広く協力していきたいと考えています。

また、現在、多くの日本の民間企業や地方自治体、NGO・NPO 機関からベトナムに、高い関心が寄せられています。JICA は政府機関のみならず、これらの団体の経験、知識、技術をベトナムの発展のため最大限に生かせる協力事業を実施し、多くの日本人が参加できる機会を引き続き提供していきます。

ノイバイ空港から市内に向かう途中、美しいニャットン橋（日越友好橋）を渡り、道を埋め尽くす車やバイクを見て、ベトナムは大きな変化を遂げていることを実感しました。この国の持つポテンシャル及び活力と日本の知識・経験が融合することで、日越両国と ASEAN のさらなる飛躍が促進されると信じています。

今後、JICA はベトナムの長期的な開発目標を実現するため、カウンターパート及び関係機関と緊密に連携しながら事業に取り組みます。私自身もベトナム事務所の代表として、日越両国のパートナーシップ強化に尽力したいと思います。

## 目次

### 【巻頭】

・ JICA ベトナム事務所 菅野新所長からのご挨拶	1	【脆弱性への対応】	
		・ ビンディン省で枯葉剤汚染調査の家庭訪問をしました	4
<b>【成長と競争力強化】</b>		<b>【その他】</b>	
・ 農業人材開発プロジェクトにおける第 1 期技能実習生の入校式を開催しました	3	・ 第 8 回ジャパンベトナムフェスティバルに出展しました	5
・ 2023 年創業・新事業支援アドバイザー養成研修の基礎コースを開催しました	3		

## 農業人材開発プロジェクトにおける第1期技能実習生の入校式を開催しました

VNUA (Vietnam National University of Agriculture) 農業人材開発プロジェクトでは、外国人技能実習制度の本来の趣旨にもとづいた運用を行うことを目指して立ち上げられました。技能実習制度は「日本で技能・技術を習得し、母国でその習得した技能・技術を生かして国の発展に寄与する人づくりに協力する」とされており、プロジェクトではこの理念のもと、安価な手数料および農業関連の事前教育を施したうえで日本に派遣する計画にしています。



第1期技能実習生の入校式 技能実習生・家族・IDS社スタッフ



第1期技能実習生の入校式

2月24日、実習実施者（受入企業）と監理団体による初めての面接を受けて合格した10名が、第1期生として家族とともに入校式に参加しました。これから約6ヶ月間、VNUAの研修施設において日本語および農業の研修が始まります。予定では、今夏から千葉県で3年の技能実習に従事し、帰国後はビンフック省の農業関連企業で活躍することが期待されています。



## 2023年創業・新事業支援アドバイザー養成研修の基礎コースを開催しました

計画投資省企業開発庁(AED)とJICAが実施中の中小企業振興・産業基盤強化プロジェクトにおいて、2023年創業・新事業支援アドバイザー養成研修基礎コースがハノイとホーチミンにおいて各3日間の日程で開催されました。本研修は、遠隔講義により63名が修了した昨年到现在に続いて、ベトナム側の強い要望を受けて、対面講義による第2回目として開催されました。講師は、昨年同様に株式会社ハーモニーリンクの馬込正先生が担当され、



受講者の集合写真（ハノイ）

受講者は、中小企業支援センター(TAC)が多数の参加希望者の中から110名(ハノイ50名、ホーチミン60名)の優秀なコンサルタントを選抜しました。

今後は、応用コース(3月)と実践コース(8,9月)が開催される予定で、3コースでの講義・演習を通じ、創業・新事業を成功に導くための方策を網羅的かつ実践的・体系的に学びます。3コースの修了者は、習得した方策、知識を生かし、ベトナムの中小企業支援法及び裾野産業支援施策に基づく、官民による中小企業・裾野産業支援の一翼を担うことが期待されています。昨年に引き続き、講師としてご尽力頂きました馬込正先生には感謝申し上げます。



受講者の集合写真(ホーチミン)



## ビンディン省で枯葉剤汚染調査の家庭訪問をしました

2月20日、21日、ビンディン省フーカット県に金沢大学とベトナム側の関係機関が一堂に会し、JICA 草の根技術協力事業「枯葉剤/ダイオキシン濃厚汚染地区での母子健康教育プロジェクト」に係る現地研修の成果報告や2023年度以降の事業計画に関する協議および低体重児を持つ家庭への訪問をしました。協議では、事業の実施団体である金沢大学とベトナム側のパートナーであるフーカット県医療センターから、これまでに実施した血中・母乳中のダイオキシンやホルモンの精密分析に関する技術研修や、母子へ健康教育を行う現地医療従事者向け研修の報告があり、今後の事業計画について関係機関との活発な意見交換がなされました。協議後には低体重児の家庭を訪問し、母子健康手帳\*を見ながら子どもの発育状況を確認するとともに、専門家から栄養指導や健康上の悩みに対するアドバイスを行いました。



民家訪問



住民へのインタビュー

本事業は、枯葉剤の濃厚汚染地区の一つであるビンディン省フーカット県内において、母親の体内におけるダイオキシンの影響と考えられる低体重児を特定し、母子への早期離乳指導や栄養指導を行う人材を育成することを目的としています。今年度から、研修に参加した現地関係者による精密分析や各家庭への健康教育の実践に移ります。これまでの研修と調査の成果を踏まえ、現地の状況に即した母子健康教育の展開が期待されます。

#### 事業概要

<https://www.jica.go.jp/.../ku57pq000.../ku57pq00000leud a.pdf>

金沢大学 事業ウェブサイト

<https://dioxinvn-jp.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

\*JICA は「母子健康手帳全国展開プロジェクト」において、ベトナムで全国標準となる母子健康手帳の導入を支援。現在ベトナム政府独自で全省への展開を促進中。

#### 事業概要

<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/012/index.html>



## 第 8 回ジャパンベトナムフェスティバルに参加しました



多くの来場者で賑わう JICA ブース

2023年2月25日～26日、ホーチミン市9月23日公園において、第8回ジャパンベトナムフェスティバルが開催され、JICA ベトナム事務所もブース出展しました。今年は、JICA ブースと JICA x 川崎フロンターレブースの2つのブースを展開し、JICA ブースでは、ホーチミン市都市鉄道事業（ベンタイン-スオイティエン間（1号線））のフォトブースやクイズ、日越大学による日本文化紹介、JICA x 川崎フロンターレブースでは、健康増進プログラムや実践算数教室等を実施しました。



地下鉄車内を模した JICA ブース日越大学の紹介中



JICA ブースのホーチミンメトロ1号線のフォトパネル

来場者からは、クイズ等を通し都市鉄道事業の理解や知識を深めることができたといった声やベトナムではまだ目新しいツールを使った新しい健康増進の方法や、子供たちが体を動かしながら楽しく算数を学ぶ方法を知ることが出来たといった声が聞かれました。2月25日にはベトナムメディアからブースの取材を受け、JICA ベトナム事務所清水所長がインタビュー対応を行いました。



実践算数教室に参加する子供たち



ボールウォーキングを体験する来場者

JICA は、引き続き交通インフラ整備を通じた市民生活の利便性向上、また、性別・年齢・その他バックグラウンドにかかわらず、全ての人にスポーツの価値を提供し、社会課題を解決する事に貢献します。



JICAベトナム事務所では、本報を通じて皆様との情報共有を目指しています。ご意見、ご要望は、vt\_oso\_rep@jica.go.jpまでお送り下さい。

Website <https://www.jica.go.jp/vietnam/index.html> (日・越・英)

Facebook <https://www.facebook.com/jicavietnam> (越) 発行：JICAベトナム事務所広報班